


ソーラースパンドレル本体 取付説明書

説明書番号 MN-1680 表
改3

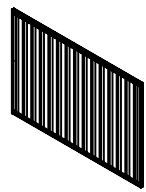
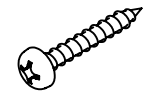
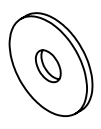
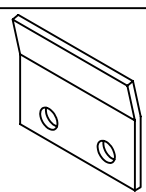
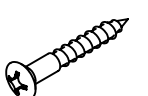
■本説明書では、お使いになる人や他の人の財産への損害を未然に防ぐため次のような絵表示をしています。

絵表示	意味
	「必ず行なっていたく事」を示しています。

■施工時のお願い

その他の外壁と同等の防火・防水処理・外装仕上げを行ってから取付をおこなってください。給気ファン、コントロールボックス等、周辺機器の取付け方法についてはお使いになる各製品の取り付け・取り扱い説明書を参照してください。電気工事は別途工事となります。なお、電気工事は必ず電気工事店に依頼してください。現場の状況や製品を取付ける場所によっては後からの取付けが困難な場合があります。その場合は足場のあるうちに取付けすることをお勧めします。

■本製品の明細は以下の通りです。

ソーラースパンドレル本体	①取付け用ナベタッピンビス	② 水密ワッシャー
	 φ4.1x75	 BN-1086
③ 取付位置出し金具	④ 位置出し金具 取り付け用木ビス	
 ETC-5569	 φ4.1x63	

1 ソーラースパンドレル本体取り付け前の確認について

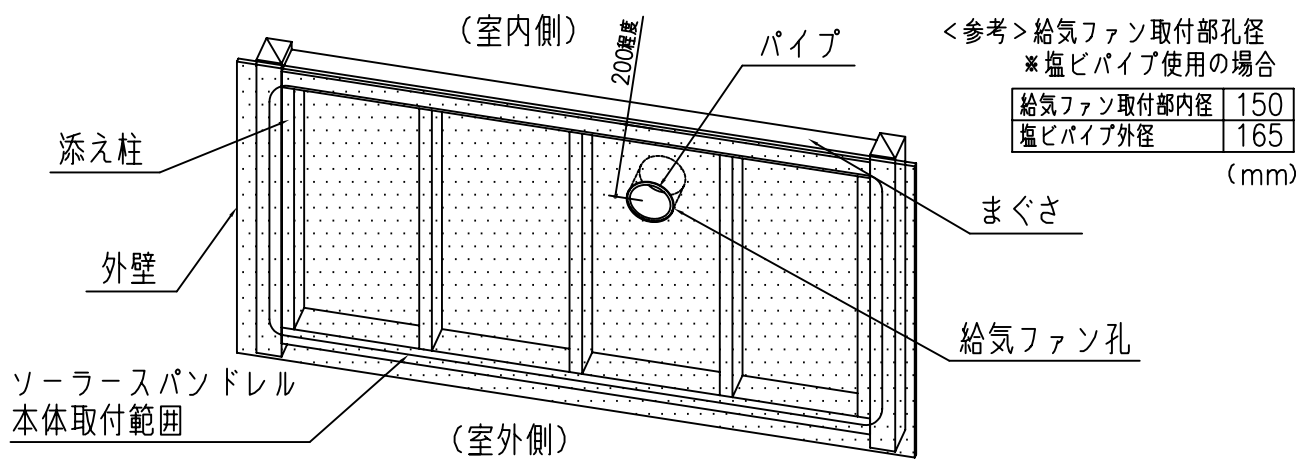
お願い

フレーム取付けビスの位置には、十分な強度を有する下地躯体（まぐさ、添え柱）が四方にあることを建築図面などで確認してください。取り付けを行う箇所が建築図面などで確認できない場合は壁をはがすなどの方法により、下地材の確認を行ってください。

お願い

外壁厚さは45mm以下としてください。この範囲を超えると木ビスが30mm以上打ち込めなくなります。外壁だけの固定は外壁を破損するだけでなくスパンドレル本体が落下する等の原因になりますので絶対におやめください。また、外壁の凹凸が激しく、取付面が平らでない場合は取り付けることができません。

ソーラースパンドレル本体取付け範囲のうち、上部の位置（推奨：上部より200mm程度の位置）に給気ファンの孔径に合わせて壁に孔をあけてください。＜別途工事＞詳細は、お使いになるファンの取付説明書をご覧ください。（孔にはパイプなどを挿入し、パイプと外壁面の取り合い部には必ずコーキングをしてください。＜別途工事＞）



2 ソーラースパンドレル本体の取付

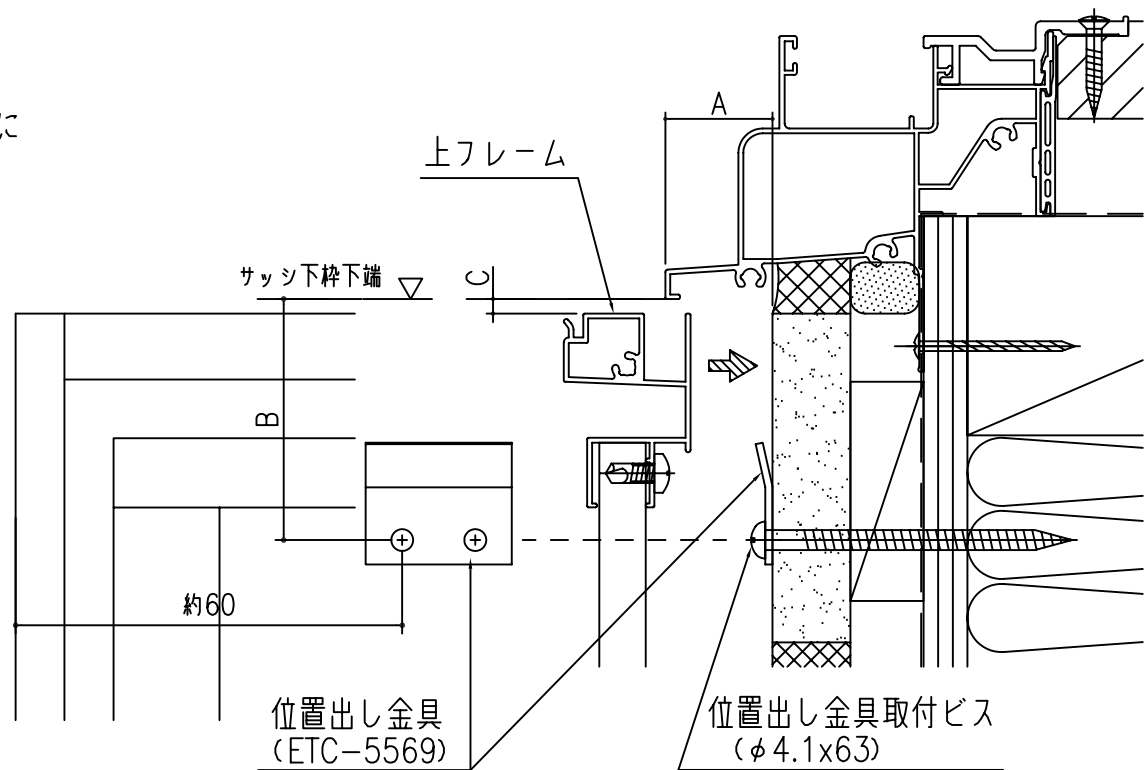
① 位置決め

位置出し金具をスパンドレル本体両端部から約60mmとなる位置に取り付けを行ってください。また、取付高さは上部サッシ下枠下端より50mmの位置にて行ってください。

※外壁の仕上がりによっては位置出し金具による位置出しができない場合があります。

下表条件により、右図B・C寸法を調整してください。

条件	上部無	上部にサッシ・底等がある場合
B 位置出し金具上部	任意	50 ⁻⁰ mm
C スパンドレルと上部にあるものとのチリ寸法	-	3mm以上



お願い

スパンドレル本体の上下を確認します。図1のように孔加工のある方を下側にしてください。（上フレームに「上」ラベルが貼ってあります。上下を確認し、取付後ははがしてください。）

図2のように位置出し金具に上フレームを引っ掛け、左右部を位置決めします。

図3のようにサッシ外観見付け幅とパネル出来幅が揃うように取り付けます。

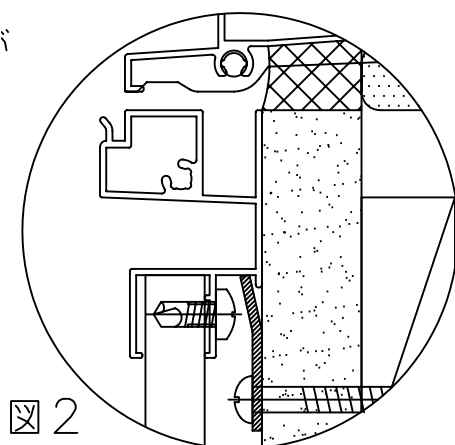
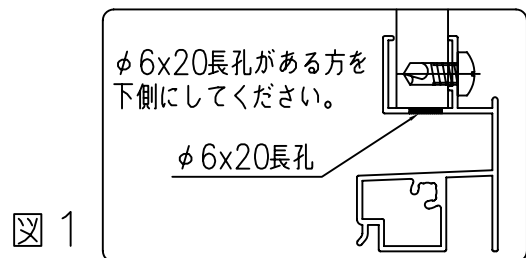
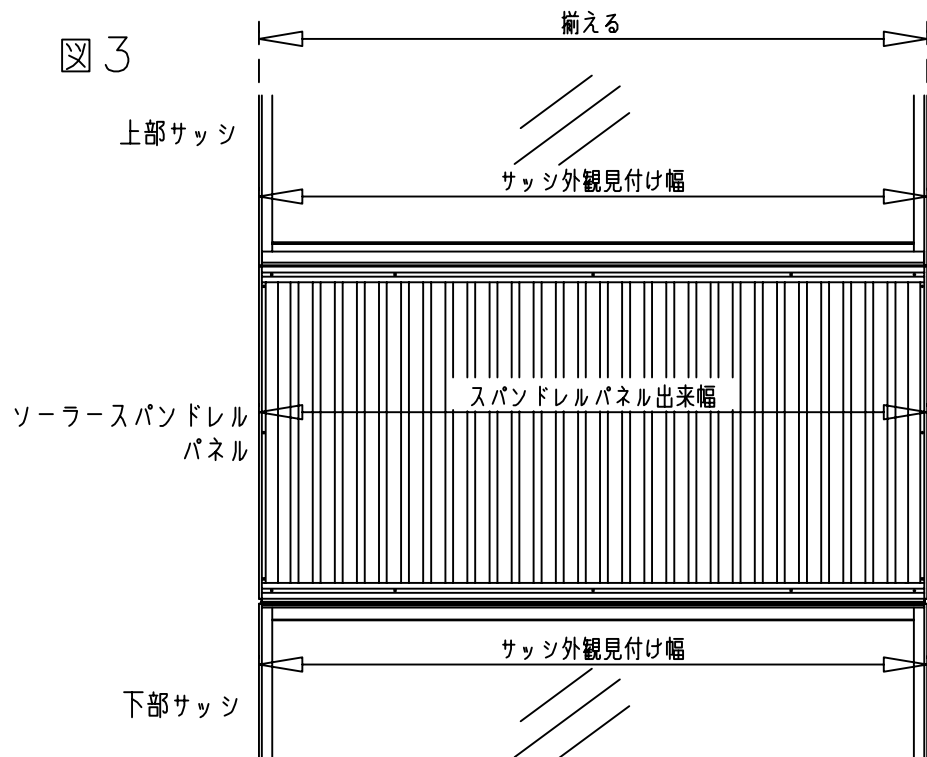


図3

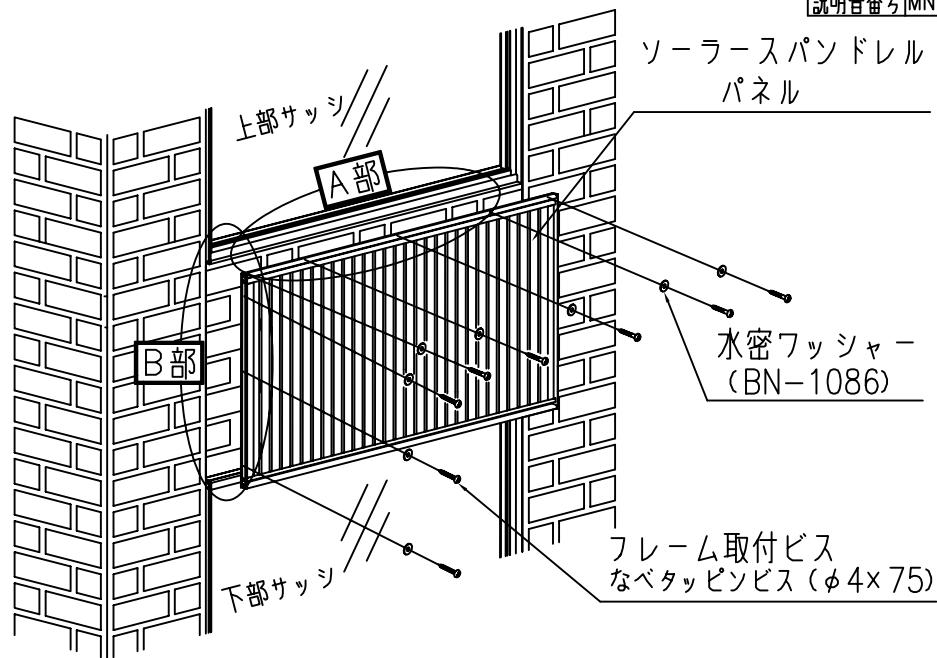


② 取り付け

位置決め後、製品本体にビス止めして固定してください。
取付時は、水密ワッシャーを使用してください。

お願い

フレーム取付けビスを付ける前に必ず壁に下孔
($\phi 3.5 \times 50$ 以下)をあげ、シーリング材を充填して
ください。
外壁の仕上がりによっては、付属のビス長さでは
足りない場合があります。その時には必ず適切なビス
(躯体に30mm以上かかるビス)を使用してください。



3 シーリング

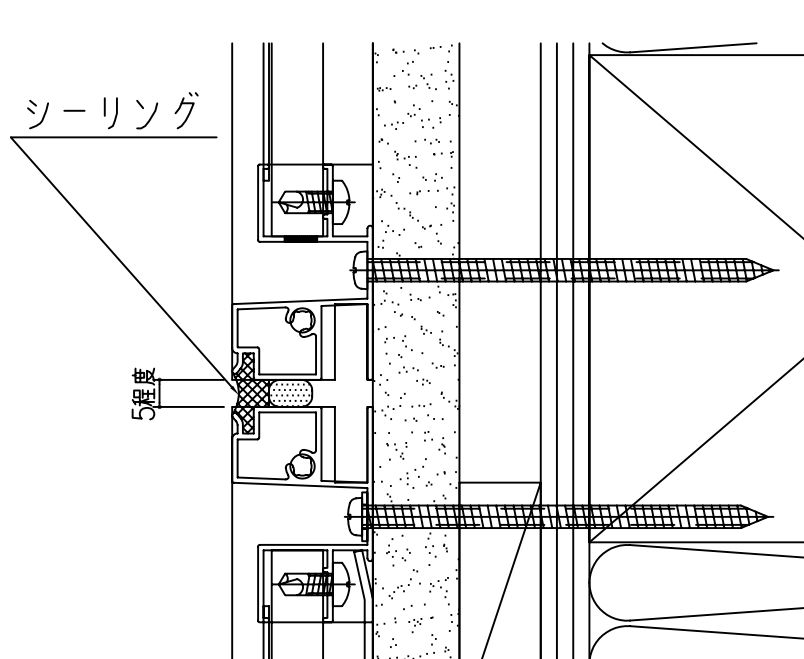
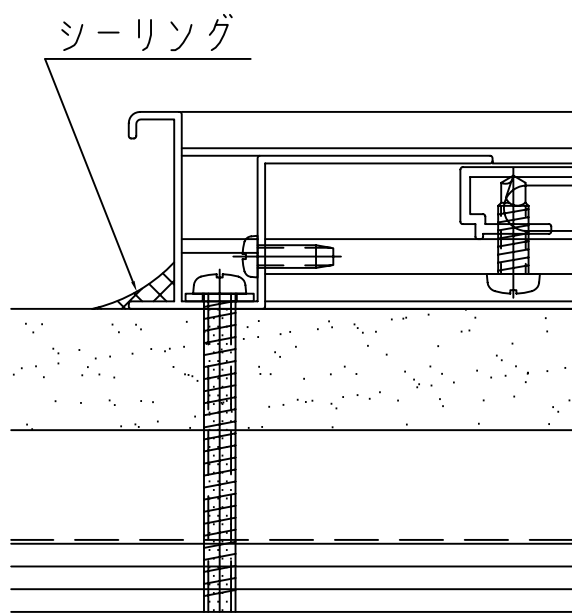
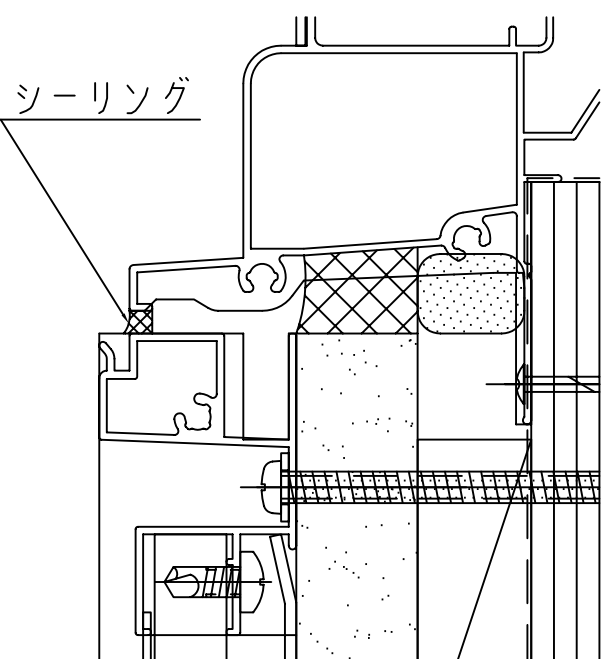
お願い

スパンドレルパネルを上下に並べて使用する場合は、
上フレームと下フレームの間に5mm程度のチリを開けて
取り付け後、シーリングしてください。

お願い スパンドレルパネル取付後、上・左右縦の三方をシーリングしてください。
(シーリング材は市販の成分形変成シリコンを使用してください)

A部 上フレーム

B部 縦フレーム



4 参考納まり図 (16512サイズ)

